

外国語ワーキンググループ(第2回)

岐阜県における

小学校高学年「英語科」の取組

～英語拠点校の取組を中心として～

H27. 11. 30

岐阜県教育委員会 学校支援課

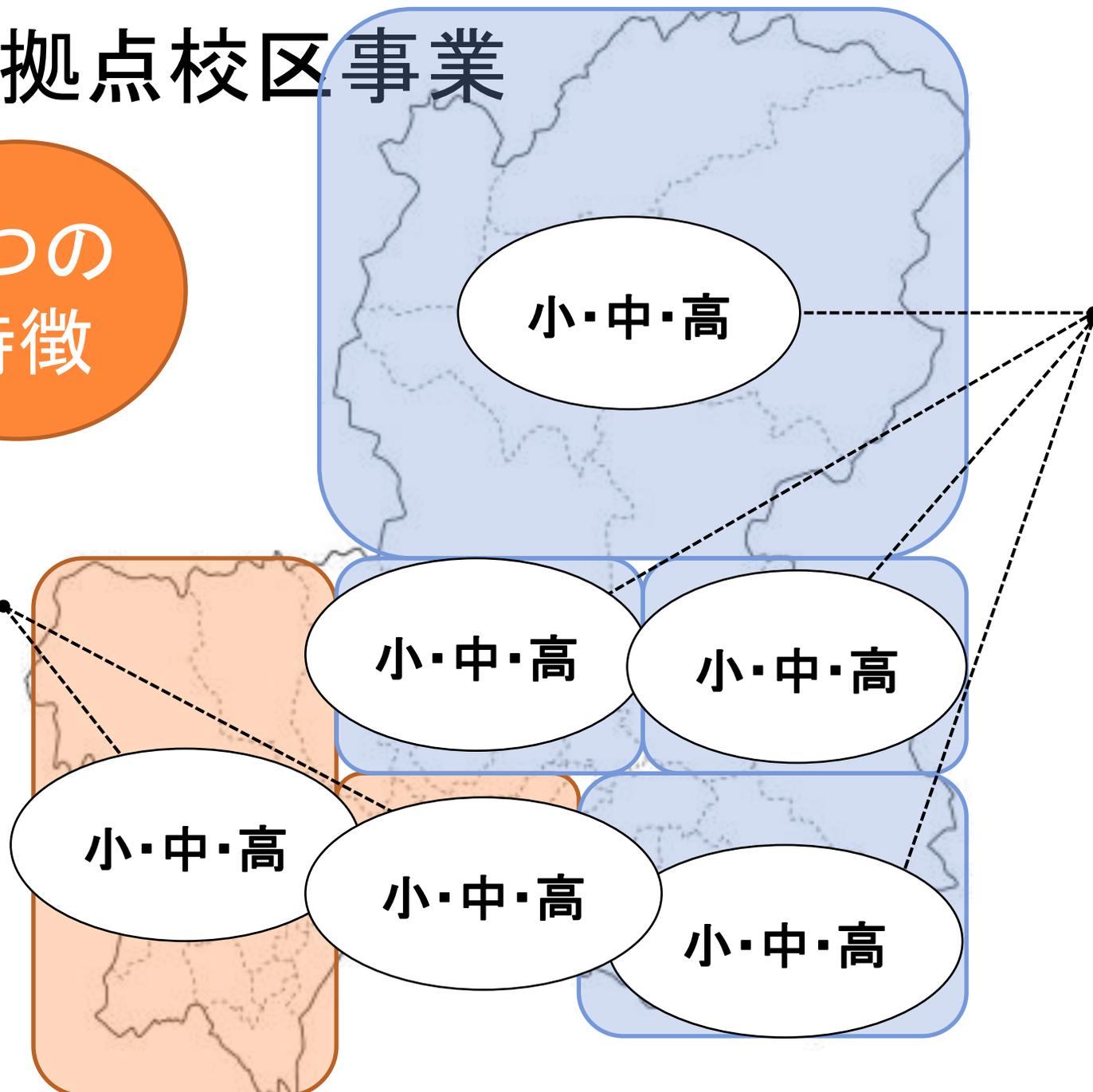
山田 誠志

英語拠点校区事業

県教委指定

3つの
特徴

文科省指定
(兼県教委指定)



小・中・高

小・中・高

小・中・高

小・中・高

小・中・高

小・中・高



系統性

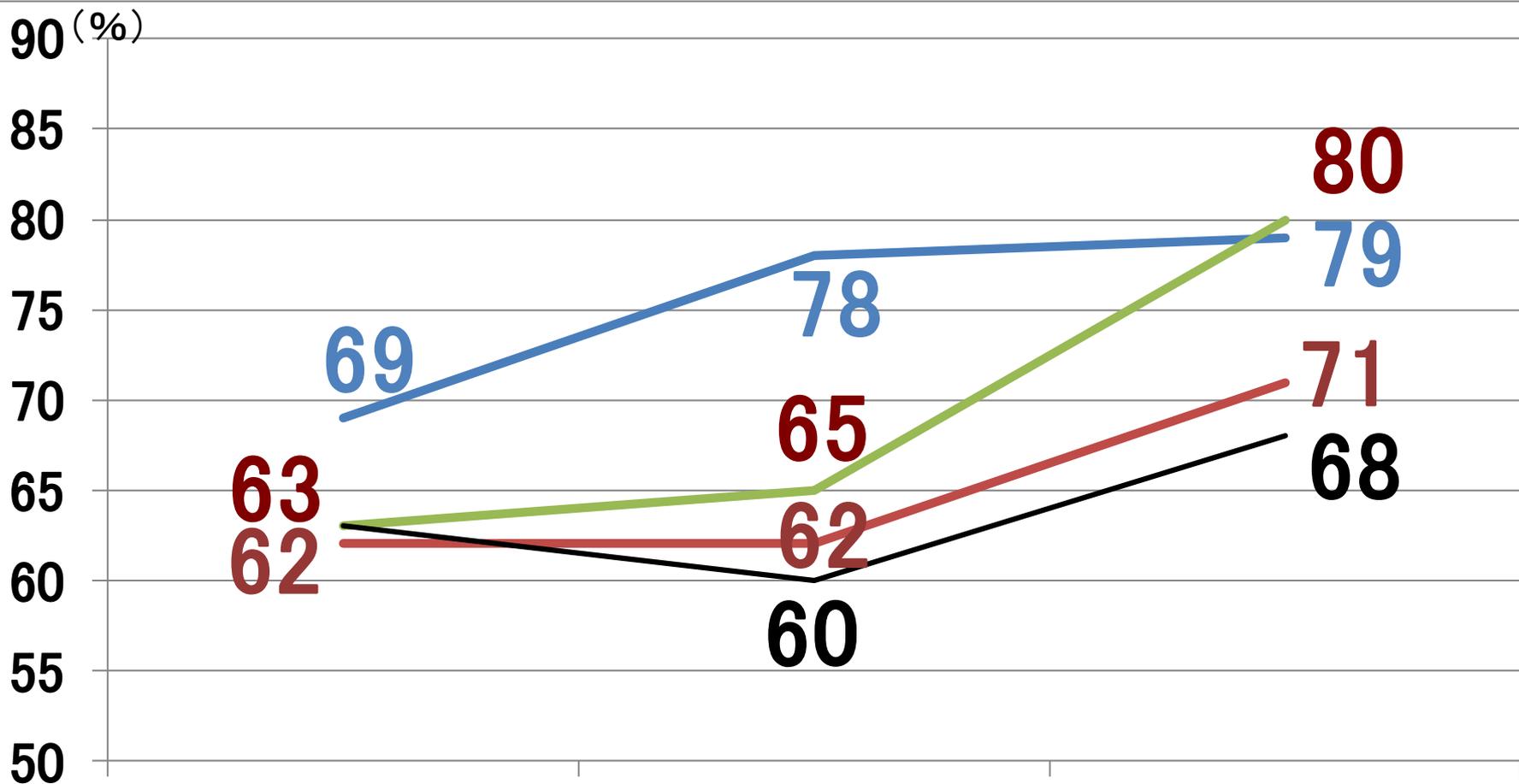
繰り返し

自分の考えや気持ち

やりとり (interaction)

考えながら話す

(脱「暗記して言う」)



H26.6 (小5)

H26.12 (小5)

H27.6 (小6)

— 授業が好き

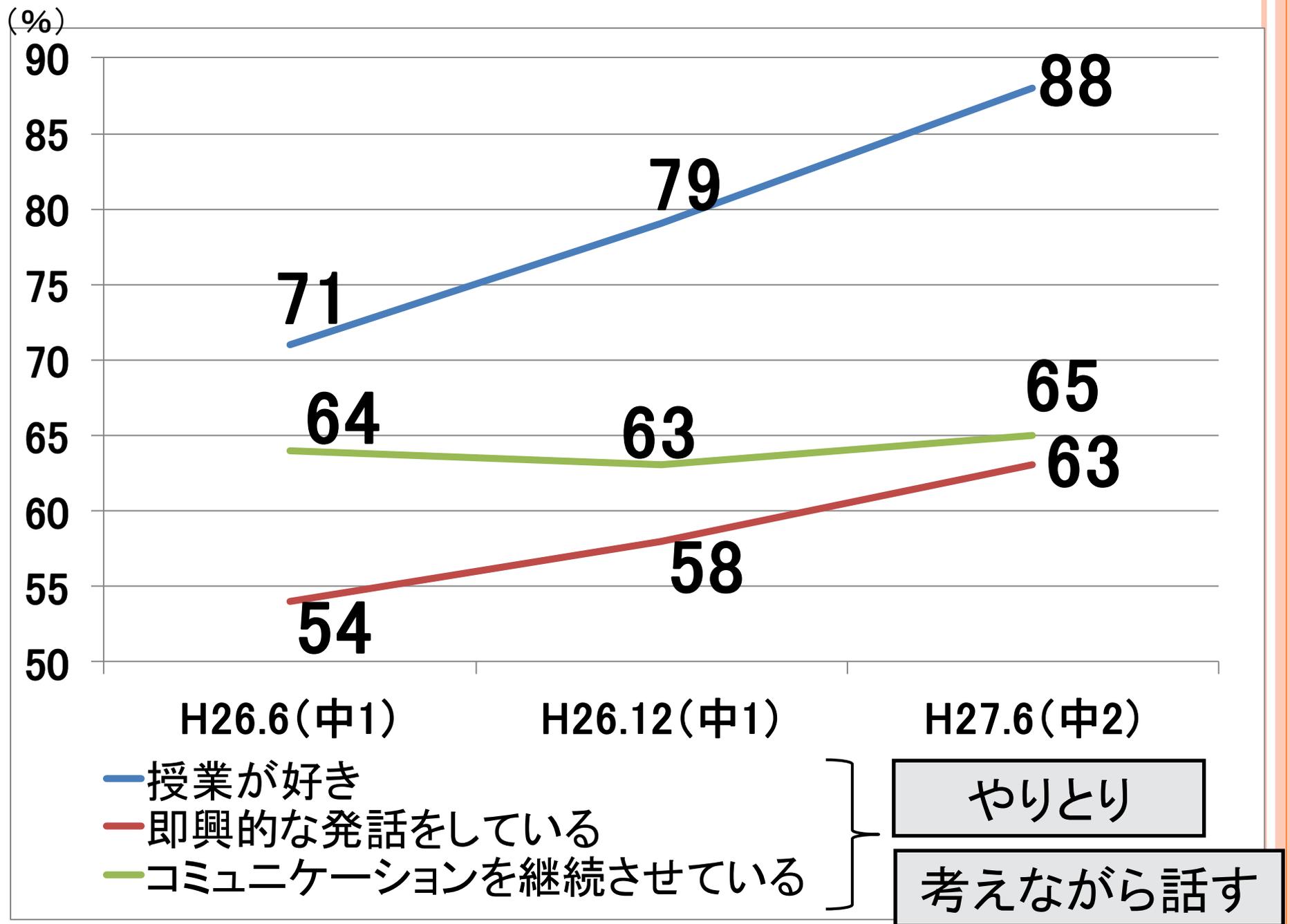
— 知っている英語を使って気持ちを伝えている

— 相手の反応を確かめながら話している

— うなずいたりあいずちをうったりしながら聞いている

やりとり

考えながら
話す



英検(実力判定テスト)

Bronze 平均正答率 **84%** (H26 小6)

※Bronze受験の目安

- ・小学校での英語活動を2～3年半程度
- ・文字の学習を1～2年程度

英検(実力判定テスト)

3級＋3級相当 **46%** (H26 中3)

※国35%
県34%



英語拠点校等の小学校の取組

学習到達目標

(パフォーマンステストを含む)

言語活動の取扱い(指導方法)

(短時間学習、読むこと・書くことの指導を含む)



学習到達目標

系統性

繰り返し

「具体化」

「小・中・高を通じた」

構成要素

英語で表記

高→中→小

学習到達目標

構成要素

第3学年の目標

やりとりの要素が強い言語活動における目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠等を(内容)
- ・対話がより継続・発展するよう、聞き手の理解に応じて他の表現で言い直すなどの工夫をしながら(表現方法)
- ・中心となる話題に関して5往復程度の対話で(程度)話することができる。

学習到達目標

英語で表記

Lesson2

仲間を紹介する記事づくりに向けてインタビューする活動において、好きなことや興味のあることについて、いつから好きなのか、なぜ好きなのかなど、現在完了の継続用法を含んだ英文を用いて質問したり説明したり、必要に応じて繰り返したり他の表現で言い換えたりして、5～7往復程度の対話を行うことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した発話例)

英語拠点校作成の学習到達目標

①技能別

②話題別

③活動別（言語の働き別）



学習到達目標

系統性

繰り返し

②話題別

好きな
もの・人

夢

身近
ねうち
教科書

日本や
世界の
よさ

思い出

1日の生活

学校・ふるさと

学習到達目標

系統性

繰り返し

<小5>

学校・ふるさと

A: What do you like about Nagara?

B: I like Nagara river.

A: You like Nagara river. Sounds nice. Why do you like it?

B: I like fishing.

<小6>

A: What do you like about Gifu?

B: I like Gifu castle. It's cool.

A: Why is Gifu castle cool?

B: The shape is nice. And Gifu castle is on Mt. Kinka, so you can enjoy climbing. It's fun.

A: That's good!

言語活動の取扱い (指導方法)

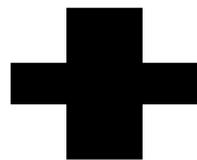
自分の考えや気持ち

やりとり

考えながら話す

◆これから

「小学校ならではの」の指導
(発達段階に応じた指導)



小・中・高等学校で継続させる指導

言語活動の取扱い (指導方法)

自分の考えや気持ち

やりとり

考えながら話す

◆小・中・高等学校で継続させる指導

言語活動に目的を

具体的な場面の中で表現(言語材料)を使用

対話的な言語活動(interaction)を重視

慣れ親しんだ表現(言語材料)を想起しながら使用

conversation strategiesを指導

教員が英語で児童とコミュニケーションを

言語活動の取扱い (指導方法)

自分の考えや気持ち

やりとり

考えながら話す

指導例① Small Talk (毎時間)

- ・既習表現の継続使用 → 定着
- ・conversation strategies (感想、follow-up questions)

指導例② 説明 → 質問

(例)

- ・着ていく服 → What do you think? + Advice, please.

指導例③ 説明 → 相手の興味や意向の確認 → 説明

指導例④ (ペア対話 → 言語材料の指導) × 3

指導例⑤ 語彙の計画的インプット (学年間・内)

言語活動の取扱い(指導方法)

繰り返し

(短時間学習、読むこと・書くことの指導)

◆短時間学習

- ① TV番組を視聴する
 - ② (学習してすぐ)使う
 - ③ (学習後期間を置いて)使う
 - ④ 読んだり書いたりする
- (その他)児童自身が活躍する

短時間学習

読む・書く

繰り返し

Hi, friends! Plusの活用



中学年



高学年



言語活動の取扱い(指導方法)

(短時間学習、読むこと・書くことの指導)

実践事例①

■ **任意**の単位時間

■ **書く必然**のある活動

(例)

- ・体験学習の思い出マップ
- ・レストランでの注文



言語活動の取扱い(指導方法)

繰り返し

(短時間学習、読むこと・書くことの指導)

実践事例②

中学校での指導
方法を適用

■ 毎時間の授業終末

■ 聞いたり話したりしたことを書き写す

- ・年度の始めに「Hi, friends! Plus」を活用
- ・自分の名前→話した単語→話した文
- ・リスト掲載単語の予測(話題等のリサイクル)
- ・毎時間行う(成長の実感)



What do you like about Nagara town?

～長良の町の好きなところ・等

5年()

話したことをもとに、手本をまねして英文を書こう。

I like Nagara Park.

I like Dodogamine.

I enjoy basketball.

I like hiking.

It's fun!

It's fun!

...で考えて伝えたこと、伝えるのに苦労したところ、伝わって...

【課題・今後の取組】

- ①外部試験による評価を継続。データに基づく検証。
 - ②学習到達目標の改訂。
 - ③小・中・高で繰り返す「言語材料」と「言語活動」の検討。
 - ④発達の段階に応じた、表現を支えるインプットの在り方。
 - ⑤「読むこと」「書くこと」の目標と指導の改善。
 - ⑥短時間学習の目的の明確化と効果的な実施方法。
 - ⑦Hi, friends Plusの活用実践の蓄積。
 - ⑧DVD作成(②～⑦を踏まえた「英語科」授業例)。
- 

資料編

外国語ワーキンググループ（第2回） 配布資料

岐阜県における小学校高学年「英語科」の取組

H27.11.30 岐阜県教育委員会 学校支援課 山田誠志

【発表概要】

○英語拠点校区事業

○取組結果

○取組内容

・ 学習到達目標（パフォーマンステストを含む）

・ 言語活動の取扱い（指導方法）

（短時間学習、読むこと・書くことの指導を含む）

○課題・今後の取組

- 資料 1－1：県教育委員会作成 学習到達目標（話すこと・書くこと）
- 資料 1－2：県教育委員会作成 学習到達目標（聞くこと・読むこと）
- 資料 1－3：目標を具現した発話例
- 資料 2－1：英語拠点校作成 学習到達目標（中学校）（話す）
- 資料 2－2：英語拠点校作成 学習到達目標（中学校）（聞く・読む・書く）
- 資料 2－3：英語拠点校作成 学習到達目標（小学校）（4技能）
- 資料 3－1：英語拠点校作成 小中高パフォーマンステスト（話すこと）
- 資料 3－2：英語拠点校作成 小学校パフォーマンステスト（話すこと）
- 資料 4－1：英語拠点校作成 小・中一貫学習到達目標（聞くこと）
- 資料 4－2：英語拠点校作成 小・中一貫学習到達目標（話すこと）
- 資料 4－3：英語拠点校作成 小・中一貫学習到達目標（読むこと）
- 資料 4－4：英語拠点校作成 小・中一貫学習到達目標（書くこと）
- 資料 5：英語拠点校作成 小・中・高一貫学習到達目標
（活動別・言語の働き別）
- 資料 6－1：教育課程特例校作成 小・中一貫学習到達目標（小学校）
（話題別）
- 資料 6－2：教育課程特例校作成 小・中一貫学習到達目標（中学校）
（話題別）

中学校「外国語(英語)科」における「外国語表現の能力」に焦点を当てた各学年の学習到達目標(例)(任意単元の指導目標を含む)

平成26年3月 岐阜県教育委員会

外国語の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

話すことの目標(英語)

初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。

書くことの目標(英語)

英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

第3学年の目標

やりとりの要素が強い言語活動における目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠等を(内容)
- ・対話がより継続・発展するよう、聞き手の理解に応じて他の表現で言い直すなどの工夫をしながら(表現方法)
- ・中心となる話題に関して5往復程度の対話で(程度)話すことができる。

Lesson2

仲間を紹介する記事づくりに向けてインタビューする活動において、好きなことや興味のあることについて、いつから好きなのか、なぜ好きなのかなど、現在完了の継続用法を含んだ英文を用いて質問したり説明したり、必要に応じて繰り返したり他の表現で言い換えて、5～7往復程度の対話を行うことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した発話例)

第3学年の目標

発表の要素が強い言語活動における目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠等を(内容)
- ・聞き手の理解に応じて、繰り返したり、強調したりしながら(表現方法)
- ・中心となる話題に関して10文程度の英文で(程度)話すことができる。

Unit 5

あるトピックに対して、自分の意見や主張とその根拠等を、相手の理解の状況を確認し、それに応じてジェスチャーや具体物等の非言語手段を活用しながら、分詞の後置修飾等の言語材料を用いて、10文程度の英文で話すことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した発話例)

第3学年の目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠等を(内容)
- ・文章全体の構成の中で、出だしや結び、具体例、対比、問いかけの他、根拠となるデータや事実、予想される反論とそれに対する考えなどの文を効果的に使い(表現方法)
- ・中心となる話題に関して10文程度の正しい英文で(程度)書くことができる。

Unit 4

自分の思い出の物について、自分の考えやその考えをもつに至った理由等を、文章全体の構成に留意したり、不定詞等の既習表現を用いて、具体的なエピソードやそれから学んだことを示しながら、10文程度の正しい英文で書くことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した筆記例)

第2学年の目標

やりとりの要素が強い言語活動における目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・自分の経験や他教科等で学習したことに基づいた自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や特徴を表した事実等を(内容)
- ・分からない点を尋ねたり答えたりするとともに、相手の発話内容とつながりのある受け答えに留意しながら(表現方法)
- ・中心となる話題に関して4往復程度の対話で(程度)話すことができる。

Unit 7

携帯電話を売り込む活動を通して、携帯電話の特徴や好みなどについて、自分から話題を提供したり、相手の発話に関する具体的な情報を付け加えたりしながら、比較級を正しく用いて、4往復程度の対話を行うことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した発話例)

第2学年の目標

発表の要素が強い言語活動における目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・自分の経験や他教科等で学習したことに基づいた自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や特徴を表した事実等を(内容)
- ・基本的な音声の特徴の他、表情やジェスチャー、具体物等の非言語手段を含め、聞き手によりよく伝わる工夫をしながら(表現方法)
- ・中心となる話題に関して7文程度の英文で(程度)話すことができる。

Multi Plus 1

過去形や未来形、勧誘、質問等の表現を用いて、自分自身の身近な話題について、自分の考え、気持ちとその理由、詳しい様子や特徴を表した事実等を、適切な声量で、表情、視線、強勢、イントネーション等を工夫して、7文程度のまとまりのある英文でスピーチを行うことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した発話例)

第2学年の目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・自分の経験や他教科等で学習したことに基づいた自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や特徴を表した事実等を(内容)
- ・内容のまとまりに留意しながら、出だしや結び、具体例、対比、問いかけなどの文を効果的に使い(表現方法)
- ・中心となる話題に関して7文程度の正しい英文で(程度)書くことができる。

Lesson 5

将来の夢についてのスピーチ原稿を書く活動において、自分の考えや気持ちとその理由、その夢を抱くきっかけとなった具体的な体験等を、不定詞を用いて、文と文の順序や相互の関連に注意を払いながら、一貫性のある文章を7文程度の正しい英文で書くことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した筆記例)

第1学年の目標

やりとりの要素が強い言語活動における目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を(内容)
- ・聞き手を意識して強調したり、繰り返したり、新しい情報を付け加えたりして対話を継続・発展させながら(表現方法)
- ・中心となる話題に関して3往復程度の対話で(程度)話すことができる。

Lesson 5

be動詞、一般動詞の質問文や、疑問詞を含む疑問文等を用いて、好きな物を話題に、好き嫌いや興味のあることを質問して詳しく聞き出したり、相手の質問に新しい情報を加えて応答したりして対話を継続・発展させながら、2～3往復程度のインタビューの対話を行うことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した発話例)

第1学年の目標

発表の要素が強い言語活動における目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を(内容)
- ・適切な声量で、基本的な音声の特徴をとらえながら(表現方法)
- ・中心となる話題に関して5文程度の英文で(程度)話すことができる。

Unit 10

自分のおすすめの旅行先について、自分が魅力を感じる特徴や自分の気持ちを、助動詞can等を用いながら、表情、視線、声量、適切な身振りなどを工夫して、5文程度の英文で話すことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した発話例)

第1学年の目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について(話題)
- ・自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を(内容)
- ・文字や符号の識別、語と語の区切りなどに注意するとともに、正しい語順や文同士の適切なつながりに留意しながら(表現方法)
- ・中心となる話題に関して5文程度の正しい英文で(程度)書くことができる。

Unit 11

過去形を用いて、ALTに1年間の学校生活で一番の思い出について、出来事やその時の気持ちが伝わるように文同士の適切なつながりに留意しながら、5文程度の正しい英文で手紙(絵はがき)を書くことができる。

(単元指導計画・本時の展開・目標を具現した筆記例)

第3学年 Unit2 目標を具現した発話例

<例1>

A: What is your favorite thing?
B: My favorite thing is playing the piano.
A: How long have you played the piano?
B: I've played it for 8 years.
A: I see. Who is your favorite pianist?
B: My favorite pianist is Tsujii Nobuyuki. He is blind.
A: What is "blind"?
B: It means he cannot see anything.
A: Oh, really?
B: He cannot see anything, but he can play the piano very well. I can feel something warm from his melody.
A: I see. I don't know about him well. But I think he is great.

<例2>

A: What is your favorite thing?
B: My favorite thing is calligraphy.
A: "Calligraphy...." What is it?
B: We have the class about ten times in a year. We write some *kanji* with a brush.
A: I'm sorry. I can't understand what you say.
B: We wrote "creation" in *kanji* last class.
A: Oh, I see. We call it "*shuuji*".
B: That's right.
A: How long have you practiced it?
B: I've practiced it for 8 years.
A: Why have you practiced it for a long time?
B: When I write some *kanji* with a brush, I can relax. So I like it.
A: I know what you mean but I don't like it. I can't write it well.
B: If you practice it hard, you can write it well.

中学校「外国語(英語)科」における「外国語表現の能力」に焦点を当てた 各学年の学習到達目標おとび小中高のつながり(話す)

平成27年 11月

中学校・外国語の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション活動の基礎を養う。

高等学校1年生・話すこと(英語)

やりとりの要素が強い言語活動における目標

グレード3
 ・相手の言っていることが分からない場合、What do you mean by …?やDo you mean …?などを用いて、相手の意図をたずねることができる。(話し相手への聞き返しや質問、付け足し)
 ・10語程度の英文を聞き、多少の誤りは含むが、伝えられた意味を損なわない程度に口頭で繰り返すことができる。(口頭反復)
 ・適切な表現を使用して、簡単な依頼や勧誘・約束などを行うことができる。(表現など)

発表の要素が強い言語活動における目標

グレード3
 ・日常生活で簡単な用を足したり、興味・関心のあることについて自分の考えを述べるができる。(内容)

高等学校1年生・「考えて話す」ことに関わって

授業で学んだ表現や活動した内容をまとめた英語で、正確な英語や語彙で表現する。

高等学校との連携

話すこと(英語)の目標

初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。

中学校3年間の英語学習を通して「即興的に話せる」生徒の育成を目指して

第3学年の目標

やりとりの要素が強い言語活動における目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について話すことができる。(話題)
 ・客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠を話すことができる。(内容)
 ・対話がより継続・発展するよう、聞き手の理解に応じて他の表現で言い直すなどの工夫をしながら話すことができる。(表現方法)
 ・中心となる話題に関して6往復程度の対話で話すことができる。(程度)

Unit 3 自分のとおきのおきの経験を相手に伝えるやりとり
 A: Now I'm going to tell you about my wonderful experience. There are three, but only one is true. After you hear my experience, you will choose one which is true.
 B: OK. Please tell me.
 A: Please listen. First, I have seen Kimutaku at Shibuya. He was so cool, and there were so many people around him. He was there for the radio program.
 B: Oh, really? I see.
 A: OK. Second, I have seen Ishi-chan at TDL. He was very kind, so we could take a picture with him. He was there with his family.
 B: I know him. I see.
 A: Third, I have seen Masa Takahashi at Fuji TV. She was having lunch with some staff members. Please ask me.
 B: Where was Ishi-chan at TDL?
 A: He was in front of Splash Mountain. He and his family looked happy.
 B: I see. Thank you.
 A: Every experience sounds wonderful, doesn't it? Choose one.
 B: I think the answer is the second one.
 A: That's true. Good job.

第3学年の目標

発表の要素が強い言語活動における目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について話すことができる。(話題)
 ・客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠を話すことができる。(内容)
 ・聞き手の理解に応じて、繰り返したり、強調したりしながら話すことができる。(表現方法)
 ・中心となる話題に関して13文程度の英語で話すことができる。(程度)

Unit 5 日本の良さを外国の人に紹介するプレゼンテーション
 The Olympic games will be held in Tokyo in 2020, and many foreign people will visit Japan. What are the appealing points of Japan? I think it is Japanese manga. Manga is one of the Japanese pop culture.
 When I went to the school trip to Tokyo, I visited a famous company called Shueisha. Ms. Kanaya who is working there told us why Japanese manga is popular all over the world. There are two key words.
 The first key word is its quality of "pictures". They are very beautiful and vivid.
 The second key word is "Japanese originality". For example, Ninja or Samurai appear in the comics. "Naruto" or "Rurou ni Kenshin" are popular manga. Through these manga, people know more about Japan. In addition, reading manga is easier to understand Japan than reading books. Because it is difficult to read only Japanese letters. Look at this chart. It shows 15% of Chinese and American visitors buy manga and its goods. This is good for Japanese economy, isn't it?
 So we should appeal Japan through Manga more. I hope many people will be interested in Japan and they will come to Japan in 2020.

第3学年の「考えて話す」のとらえ

(1) 内容を考える
 ・相手が出したことや相手から聞いたことについて自分の考えを話す。(U3-4 You say, "To eat, drink, and learn is the right of every child." I'm glad to hear that.)
 ・相手の意見と関わらせて自分の考えを話す。(U5-3 I agree with Bird. Finding words in printed dictionaries takes time. I think using printed dictionaries is a waste of time.)
 ・多様な表現の中から、一番伝わる表現を選ぶ。(I think / I hope / I believe / I'm sure etc...)

(2) 話し方を考える
 ・聞き手の理解を確かめながら、繰り返したり強調したりして話す。
 ・言い換えたり、詳しく説明したりする。

Unit 5 で予想される生徒が「考えて話す」英語

相手の言ったことを引用しながら、自分の考えを述べる。
 ・You said "Japanese food is good". But I don't think so because there are many people with allergy. Everyone can enjoy manga so I think manga is better than Japanese food for foreign people.

・You said, "Japanese technology is wonderful". That may be true, but I think so. I'm sure that other countries have more wonderful technology. Do you know Apple in the US? Do you know BMW in Germany? They also have wonderful technology like Japan.

第2学年の目標

やりとりの要素が強い言語活動における目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について話すことができる。(話題)
 ・自分の経験や他教科等で学習したことに基づいた自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や特徴を表した事実などを話すことができる。(内容)
 ・分からない点を尋ねたり答えたりするとともに、相手の発話内容とのつながりのある受け答えに留意しながら話すことができる。(表現方法)
 ・中心となる話題に関して5往復程度の対話で話すことができる。(程度)

Unit 6 自分が住んでいる町について相手に伝えるやりとり
 A: I'm going to tell you about my hometown. It is Ogaki city. Do you know this city?
 B: No, I don't. Where is it in Gifu prefecture?
 A: Please look at this map. It is in the west of Gifu. It takes about thirty minutes from Ogaki to Nagoya by train. I think Ogaki is a big city in Gifu.
 B: Oh, I see. Where is your favorite place in Ogaki?
 A: Let me see. Do you like cherry trees? There are many cherry trees in a park. The name is "Ichiya-jo Park". It is very beautiful.
 B: That sounds good. I want to go there. Could you go to the park with me next spring?
 A: Of course. And do you know Matsuo Basho?
 B: No, I don't. Who is that? Is this famous?
 A: Yes, he is very famous in Japan. He is one of Haiku poet. He composed many haiku. So there is a haiku museum in Ogaki.
 B: Oh really? Do you compose haiku in your school?
 A: Yes. We always enjoy composing haiku in our class. Talking about our haiku is a lot of fun.
 B: I want to see haiku someday. Let's go to the museum.

第2学年の目標

発表の要素が強い言語活動における目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について話すことができる。(話題)
 ・自分の経験や他教科等で学習したことに基づいた自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や特徴を表した事実などを話すことができる。(内容)
 ・基本的な音声の特徴の他、表情やジェスチャー、具体物等の非言語手段を含め、聞き手によりよく伝わる工夫をしながら話すことができる。(表現方法)
 ・中心となる話題に関して10文程度の対話で話すことができる。(程度)

Unit 3 自分の将来の夢について相手に紹介するプレゼンテーション
 Hello, everyone. What do you want to be in the future? Now I have a dream. I'm going to tell you about my dream. I want to be a musician in the future. Why? I have three reasons. First, I like to sing songs. To sing songs is a lot of fun for me. And I like to play the piano. Second, I'm going to show you a picture. Do you know her? Her name is Nishino Kana. She is a famous singer in Japan. I want to be like her. Her songs make me very happy. Last year I went to her concert in Nagoya. I was very happy then. Third, I want to be famous in the world. And I want to make many people happy with my songs. I'm going to make my own songs. Now I always study hard to be a musician. I have a lot of things to do. To be a musician is very hard for me. But I don't give up. I want to be a musician in the future. Thank you for listening.

第2学年の「考えて話す」のとらえ

(1) 内容を考える
 ・わかりやすい言葉で言い換えたり、例を挙げたりする。(U7-1 Astro boy is one example.)
 ・一文付け加える。(U3-1 I'm going to go to New Zealand. And I'm going to leave tomorrow.)
 ・相手に考えや意図を伝える。(U5-4 I'm for the service because we can help many foreign people.)

(2) 話し方を考える
 ・ジェスチャーを用いる。
 ・繰り返して話したり、強調して話したりする。
 ・写真等を指さして話す。

Unit 6 で予想される生徒が「考えて話す」英語

・接続詞を用いて、相手に考えや意図を伝える。
 I think that you like Ogaki city. But could you tell me other famous things in Ogaki?
 I knew Mizu Manju because my friends brought me last year. Ogaki castle is one example.

・自分の考えについて、一文付け加える。
 Talking about our haiku is a lot of fun. Could you join us?

第1学年の目標

やりとりの要素が強い言語活動における目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について話すことができる。(話題)
- ・自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を話すことができる。(内容)
- ・聞き手を意識して強調したり、繰り返したり、新しい情報を付け加えたりして対話を継続・発展させながら話すことができる。(表現方法)
- ・中心となる話題に関して4往復程度の対話で話すことができる。(程度)

Unit7 海外研修先を選ぶために学校生活について伝えるやりとり
 A: This is a picture of school in New Zealand. They go to intermediate school for 2 years. They start school in February.
 B: Oh, February. It's early. How many classes do they have?
 A: They have 30 classes. They start the first class at 9 in the morning. And they're 40 minutes long.
 B: 40 minutes! It's short, so I like it. How long do they have between classes?
 A: They have 20 minutes between classes after the second class.
 B: Oh, it's nice! I can go outside. What subject do they study?
 A: They study dance and drama in the afternoon on Wednesdays. Do you like dance?
 B: Yes, I do. I like dance very much.
 A: It's nice! You can enjoy your school life in New Zealand!

第1学年の目標

発表の要素が強い言語活動における目標

- ・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について話すことができる。(話題)
- ・自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を話すことができる。(内容)
- ・適切な声量で、基本的な音声の特徴をとらえながら話すことができる。(表現方法)
- ・中心となる話題に関して7文程度の対話で話すことができる。(程度)

Unit 5 夏休みにおすすめの都道府県を紹介するプレゼンテーション
 I have a good plan for summer vacation. Look at this picture. This is the Adventure World. It's famous for Panda. They are very cute. You can see many animals and fish. And you can see beautiful view near the sea. You can eat many delicious food. Kaisendon is very good. Wakayama is famous for Ume, too. Let's try it. Let's go to Wakayama!

第1学年の「考えて話す」のとらえ

(1) 内容を考える

- ・相手の質問に対し、一文を付け加える。(U4-2 Math. It's interesting.)
- ・接続詞などを用いて、話を続ける。(U7-2 Then, what's the season there?)
- ・適切な疑問文を付け加えて、必要な情報を得る。(U7-4 Which is your favorite, pizza or tacos?)

(2) 話し方を考える

- ・ジェスチャーを用いたり、話すスピードを考えたりする。
- ・相手に伝わるように、大切な部分は強調して話す。

Unit 7 で予想される生徒が「考えて話す」英語

自分の考えや思いを一文付け加える

- ・40minutes! It's short.
- ・Oh, it's nice! I can go outside.
- ・Yes, I do. I like dance very much.

(Judge)
 A: Which do you want to go, New Zealand or Australia?
 B: I want to go to New Zealand, because I want to study dance.

小学校との連携

小学校6年生の目標

やりとりの要素が強い言語活動における目標

- ・相手が理解しているかを確認しながら話し、必要に応じて繰り返したり言い換えたりするなど、工夫して話すことができる。

小学校6年生の目標

発表の要素が強い言語活動における目標

- ・既習の英語表現を用いて、4文程度の情報を伝えることができる。

小学校6年生の「考えて話す」ことに関わって

既習表現を活用して、活動の中で自分の感想やそう思う理由を表現することができる。

中学校「外国語(英語)科」における「外国語表現の能力」に焦点を当てた各学年の学習到達目標おとび小中高のつながり(聞く・読む・書く)

平成27年 11月

中学校・外国語の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション活動の基礎を養う。

高等学校1年生・聞くことの目標(英語)

グレード3
 ・10程度のまとまった身近な事柄についての話を聞いて、必要な情報を正確に把握できる。(モノローグ)
 ・5ターン程度の会話を聞いて、比較的ゆっくりであれば話し手の意図や状況を理解できる。(会話)
 ・10語程度の英文を聞き、多少の誤りは含むが、伝えられた意味を損なわない程度にディクテーションすることができる。(ディクテーション)

高等学校1年生・読むことの目標(英語)

グレード3
 ・ほぼ既習の語彙や構文で書かれた英文を、所見でWPM80程度の速さで読み、内容の概略が理解できる。(読む速さ)
 ・ディスコースマーカなどを利用して、説明文を論理的に整理したり、物語の流れを理解できる。(理解の程度)
 ・簡単な注釈のついたイベントの案内やメモから、条件に応じて必要な情報を得ることができる。(読む材料)

高等学校1年生・書くことの目標(英語)

グレード3
 ・興味・関心のあることがら(将来の夢・尊敬する人物など)について、10文程度で書くことができる。(内容・文章量)
 ・単純な状況を分かりやすく描写したり、自分の意見や感想を相手に伝わるように平易に書くことができる。(構成)

高等学校との連携

聞くことの目標

初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。

読むことの目標

英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。

書くことの目標

英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

第3学年の目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について話される内容について正しく聞き取ることができる。(理解)
 ・6文程度の発表や放送、伝言などを聞く場面において、その内容を表す語句に留意して聞くことで、必要な情報を正しく理解することができる。(理解)
 ・自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取るとともに、話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら聞くことができる。(話し手への応答)

第3学年の目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について書かれているものについて、正確に読み取ることができる。(理解)
 ・70語程度の対話文や説明文、物語を読む際に、概要や書き手の意向等の大切な情報を読み取ることができる。(程度)
 ・伝言や手紙などの文章から、書き手の意向を理解し、文字で応じることができる。(理解から表現へ)

第3学年の目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について書くことができる。(話題)
 ・客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠を書くことができる。(内容)
 ・文章全体の構成の中で、出だしや結び、具体例、対比、問いかけのほか、根拠となるデータや事実、予想される反論とそれに対する考えなどの文を効果的に使い書くことができる。(表現方法)
 ・中心となる話題に関して10文程度の英語で書くことができる。(程度)

第2学年の目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について話される内容について必要な情報を聞き取ることができる。(理解)
 ・4文程度の発表や放送、伝言などを聞く場面において、その内容を表す語句に留意して聞くことで、必要な情報を理解することができる。(理解)
 ・自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取るとともに、話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら聞くことができる。(話し手への応答)

第2学年の目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について書かれているものについて、必要な情報を読み取ることができる。(理解)
 ・50語程度の対話文や説明文、物語を読む際に、概要や要点を読み取ることができる。(程度)
 ・伝言や手紙などの文章から、書き手の意向を理解することができる。(理解)
 ・まとまりのある説明文、意見文、対話文などの内容を理解し、強勢やイントネーション、区切りを工夫して音読することができる。(音読)

第2学年の目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について書くことができる。(話題)
 ・自分の経験や他教科等で学習したことに基づいた自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や特徴を表した事実などを書くことができる。(内容)
 ・内容のまとまりに留意しながら、出だしや結び、具体例、対比、問いかけなどの文を効果的に使い書くことができる。(表現方法)
 ・中心となる話題に関して7文程度の正しい英文で書くことができる。(程度)

第1学年の目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について話される内容についておおまかに聞き取ることができる。(理解)
 ・2文程度の発表や放送、伝言などを聞く場面において、その内容を表す語句に留意して聞くことで、必要な情報をおおまかに理解することができる。(理解)
 ・自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取るとともに、話し手に簡単な表現で確認しながら聞くことができる。(話し手への応答)

第1学年の目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について書かれているものについて、おおまかに読み取ることができる。(理解)
 ・30語程度の対話文や説明文、物語を読む際に、あらすじや概要を読み取ることができる。(程度)
 ・文字や符号を識別し、速さや音量を工夫して音読することができる。(音読)

第1学年の目標

・自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について書くことができる。(話題)
 ・自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を書くことができる。(内容)
 ・文字や符号の識別、語と語の区切りなどに注意するとともに、正しい語順や文同士の適切なつながりに留意しながら書くことができる。(表現方法)
 ・中心となる話題に関して5文程度の正しい英文で書くことができる。(程度)

小学校との連携

小学校6年生の目標

・相手の話す英語を、自分の理解の程度を相手に示したり、既習の英語表現を使って質問したり、確認したりしながら聞くことができる。
 ・話し手が伝えたいことや自分に必要な情報を聞き取ることができる。

小学校6年生の目標

・英語で活動するために必要な単語のいくつかを読むことができる。
 ・疑問詞やYes, Noなど日常会話に頻出する単語や慣用表現のいくつかを読むことができる。

小学校6年生の目標

・動物や食べ物、自分の好きなスポーツや教科など、十分に慣れ親しむことができる。
 ・パンフレットやポスターなどを作成するときに、自分が使いたい単語のいくつかを書き写すことができる。

小学校 英語科 学年ごとの学習到達目標（4技能）

学年	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
1年	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話す英語を表情や動作などで反応しながら最後まで聞くことができる。 欲しい物や数など中心となる言葉を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 習った英語やジェスチャーを用いて欲しい物や数などをはっきりと伝えたり尋ねたりすることができる。 簡単なあいさつやお礼などを言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの大文字や小文字の形の違いや、アルファベットの発音に慣れ親しむ。 	
2年				
3年	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話す英語を言葉や表情・動作などで反応しながら最後まで聞くことができる。 2文程度の情報を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 習った英語表現やジェスチャーを用いて、伝えたいことが相手に分かるようにはっきりと話すことができる。 パターンにしたがって、2文程度で話したり質問したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字で書かれた単語や文を読むことができる。 十分慣れ親しんだ単語や学習中の単語について絵と文字を一致させることができる。 アルファベットの大文字・小文字を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの活字体の大文字や小文字を書くことができる。 ヘボン式ローマ字で自分の名前を書いたりヘボン式を用いて身近な名詞を正しく表記したりすることに慣れ親しむことができる。
4年	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話す英語を言葉や表情・動作などで反応したり、内容を類推したりしながら聞くことができる。 3文程度の情報を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 習った英語表現やジェスチャーを適切に用いて、相手の様子を見ながら分かりやすく話すことができる。 パターンにしたがって、3文程度で話したり尋ねたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの発音ができる。 動物や食べ物の名前など十分に慣れ親しんだ単語について綴りを見て発音することができる。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話す英語を、簡単な英語を用いて反応したり、理解の程度を相手に示したりしながら聞くことができる。 自分の知りたい情報を、いくつかの中から取捨選択して聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手が理解しているかを確認しながら適切な声量で明瞭に話したり、実物を指し示しながら話したりすることができる。 既習の英語表現を用いて、3文程度の情報を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物や食べ物・色など、慣れ親しんだ身近な単語を読むことができる。 英語で活動するために必要な単語のいくつかを読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物や食べ物・色の名前など十分慣れ親しんだ単語を書くことができる。 カードやポップアップカードなどを作成するときに、自分が使いたい単語のいくつかを書き写すことができる。
6年	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話す英語を、自分の理解の程度を相手に示したり、既習の英語表現を使って質問したり確認したりしながら聞くことができる。 話し手が伝えたいことや自分に必要な情報を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手が理解しているかを確認しながら話し、必要に応じて繰り返したり言い換えたりするなど工夫して話すことができる。 既習の英語表現を用いて4文程度の情報を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語で活動するために必要な単語のいくつかを読むことができる。 疑問詞や Yes, No など日常会話に頻出する単語や慣用表現のいくつかを読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物や食べ物、自分の好きなスポーツや教科など十分に慣れ親しんだ単語を書くことに慣れ親しむができる。 パンフレットやポスターなどを作成するときに、自分が使いたい単語のいくつかを書き写すことができる。

小中高共通パフォーマンステスト(「話すこと」について) 試案

小学校・中学校・高等学校 2015年8月現在

レベル	文量・内容	コミュニケーション・デリバリー	文の質・表現の広がり
レベル9 (高3)	A: 相手とコミュニケーションをとりながら、4分間話し続けることができる。 B: 相手とコミュニケーションをとりながら、3分45秒話し続けることができる。 C: 相手とコミュニケーションをとりながら、3分30秒間話し続けることができる。	A: 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして、話すことができる。 B: 話し方の工夫はないが、適切な声量で話すことができる。 C: なんとか相手に伝えることができる。	A: まとまりのある英語で、文法に気をつけて、中心となる話題について23文程度で正しく話すことができる。 B: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが、中心となる話題について23文程度で話すことができる。 C: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが20～22文の英語で話すことができる。
レベル8 (高2)	A: 相手とコミュニケーションをとりながら、3分45秒間話し続けることができる。 B: 相手とコミュニケーションをとりながら、3分30秒間話し続けることができる。 C: 相手とコミュニケーションをとりながら、3分15秒間話し続けることができる。	A: 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして、話すことができる。 B: 話し方の工夫はないが、適切な声量で話すことができる。 C: なんとか相手に伝えることができる。	A: まとまりのある英語で、文法に気をつけて、中心となる話題について20文程度で正しく話すことができる。 B: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが、中心となる話題について20文程度で話すことができる。 C: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが17～19文の英語で話すことができる。
レベル7 (高1)	A: 相手とコミュニケーションをとりながら、3分30秒間話し続けることができる。 B: 相手とコミュニケーションをとりながら、3分15秒間話し続けることができる。 C: 相手とコミュニケーションをとりながら、3分間話し続けることができる。	A: 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして、話すことができる。 B: 話し方の工夫はないが、適切な声量で話すことができる。 C: なんとか相手に伝えることができる。	A: まとまりのある英語で、文法に気をつけて、中心となる話題について17文程度で正しく話すことができる。 B: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが、中心となる話題について17文程度で話すことができる。 C: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが14～16文の英語で話すことができる。
レベル6 (中3)	A: 相手とコミュニケーションをとりながら、3分間話し続けることができる。 B: 相手とコミュニケーションをとりながら、2分45秒話し続けることができる。 C: 相手とコミュニケーションをとりながら、2分30秒間話し続けることができる。	A: 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして、話すことができる。 B: 話し方の工夫はないが、適切な声量で話すことができる。 C: なんとか相手に伝えることができる。	A: まとまりのある英語で、文法に気をつけて、中心となる話題について13文程度で正しく話すことができる。 B: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが、中心となる話題について13文程度で話すことができる。 C: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが10～12文の英語で話すことができる。
レベル5 (中2)	A: 相手とコミュニケーションをとりながら、2分30秒間話し続けることができる。 B: 相手とコミュニケーションをとりながら、2分15秒間話し続けることができる。 C: 相手とコミュニケーションをとりながら、2分間話し続けることができる。	A: 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして、話すことができる。 B: 話し方の工夫はないが、適切な声量で話すことができる。 C: なんとか相手に伝えることができる。	A: まとまりのある英語で、文法に気をつけて、中心となる話題について10文程度で正しく話すことができる。 B: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが、中心となる話題について10文程度で話すことができる。 C: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが7～9文の英語で話すことができる。
レベル4 (中1)	A: 相手とコミュニケーションをとりながら、2分間話し続けることができる。 B: 相手とコミュニケーションをとりながら、1分45秒間話し続けることができる。 C: 相手とコミュニケーションをとりながら、1分30秒間話し続けることができる。	A: 聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして、話すことができる。 B: 話し方の工夫はないが、適切な声量で話すことができる。 C: なんとか相手に伝えることができる。	A: まとまりのある英語で、文法に気をつけて、中心となる話題について7文程度で正しく話すことができる。 B: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが、中心となる話題について7文程度で話すことができる。 C: まとまりのある英語で、文法はあいまいだが4～6文の英語で話すことができる。
レベル3 (小6学年)	3～5文程度で、自分の好きなこと、旅行プラン、将来の夢など、紹介したい内容を話すことができる。「友だちと遊ぶ約束を日時、場所、内容などを相談して決める」など、3往復程度の会話ができる。	全体として、clear voice, eye contact, smileなど、相手を意識して話している。表情やジェスチャーなど、non-verbalな手段を適切に加えて、成立や継続をしようとしている。(大きな数を表すために、指を使うなど)	レベル2の内容に加え、I want to ～など、一文が5語程度の文を話す。How many ～? Which [物] do you like? Where do you go?などのWh-questionの問いと答えが数種類できる。 聞いた内容について、レベル1に加え、It's [nice, good, cute, interesting]などとコメント
レベル2 (小5学年)	1～3文程度で、自分の好きな食べ物、教科、色、ランチメニューなど、紹介したい内容を話すことができる。「私はだれでしょう」を当てるなど、2往復程度の会話ができる。	不自然な沈黙がある場合や、やや聞き取りにくい音声や発音が含まれるが、全体としては、clear voice, eye contact, smileなど、相手を意識して話している。表情やジェスチャーなど、non-verbalな手段を加えて、成立や継続をしようとしている。(写真や図を指し示すなど)	レベル1の内容に加え、I like [好きなこと]、I have [持ち物]、I play [スポーツ等]を話すことができる。What subject do you like? Which do you like, A or B?と尋ねたり、それに答えたりできる。 聞いた内容について、I see. Really? Wow! Excellentなどと、相づちをうつことができる。
レベル1 (小4学年)	語や語句で、あいさつや好き・きらい、できる・できないなどの簡単な意思表示ができる。あいさつや、体の調子、好きなことについて、1往復程度の会話ができる。	不自然な沈黙が頻繁にあったり、聞き取りにくい音声や発音である場合が多く、コミュニケーションが十分に図れないこともあるが、コミュニケーションの成立や継続をしようとしている。	あいさつ、How are you?に対する答え、Do you like[食べ物/スポーツ/色]?などについて、問いと答えができる。好きなこと、持っているものなどを、I like～、I have～などと、1文で言うことができる。相手の言った語を繰り返して、確認しようとする。

パフォーマンステスト(小学校)

文量	コミュニケーション	文の質
<p>A:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3往復程度やりとりした。 ・3文程度で紹介した。 	<p>A:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体として,clear voice,eye contactを意識していた。 ・表情やジェスチャーを必要に応じて加えた。 	<p>A:</p> <p>(Bに付け加えて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の名所の写真のよさを紹介した。
<p>B:</p> <p>2往復程度やりとりした。</p>	<p>B:</p> <p>不自然な沈黙や,聞き取りにくい音声や発音もみられたが, clear voice,eye contactを意識して話した。</p>	<p>B:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の名前を尋ねられた。 ・Wh疑問文の問いや答えを用いて話した。
<p>C</p> <p>あいさつはしたが,ほとんど話せなかった。</p>	<p>C:</p> <p>clear voice,eye contactが不十分だった。</p>	<p>C:</p> <p>それ以下</p>

小学校・中学校「外国語(英語)科」における学習到達目標【聞くこと】

外国語科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

「聞くこと」の目標

(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について…) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。

【聞くこと(やりとりの要素が強い言語活動)】

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	話された内容にかかわってさらに詳しく知りたい情報	5往復程度の対話において、話し手の伝えようとしていることを理解することができる。	・話された内容にかかわる質問をしながら聞く。 ・話し手の状況や気持ちをとらえ、反応しながら聞く。 ・相手の考えと自分の考えの相違点を見つながら聞く。 ・賛成・反対など自分の考えをもち、反応しながら聞く。	

【聞くこと(発表の要素が強い言語活動)】

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	発表や放送、伝言などにおける話し手の意見や主張とその根拠等	100語程度の発表や放送、伝言などの内容を聞き取ることができる。	・自分の考えをもつために、質問をしながら聞く。 ・話し手の主張や根拠をメモをとりながら聞く。 ・話し手の主張や根拠を受け止め、自分の考えを簡単な英語で伝えながら聞く。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	一度聞いただけでは理解できなかった情報	4往復程度の対話において、話し手の伝えようとしていることを理解することができる。	・自分の経験や体験と比較しながら聞く。 ・内容を確かめたり、詳しい情報を求めたりしながら聞く。 ・話し手の意向を理解し、英語を使って、適切な反応を示しながら聞く。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	発表や放送、伝言などにおける自分自身が必要とする情報	70語程度の発表や放送、伝言などの内容を聞き取ることができる。	・聞きとれた語句や文から… ・情報を整理して聞く。 ・話し手が伝えたい内容を類推しながら聞く。 ・5W1Hを視点にして、文章の流れを整理して聞く。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	一度聞いただけでは理解できなかった情報 ・自分の理解を確かめたい情報	3往復程度の対話において、話し手の伝えようとしていることを理解することができる。	・理解できていないことを適切な表現で示しながら聞く。 ・理解した内容を示す語句を繰り返しながら聞く。 ・話し手の意向を理解し、行動や簡単な英語を使って、反応を示しながら聞く。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	発表や放送、伝言などにおける話題や中心となる情報	50語程度の発表や放送、伝言などの内容を聞き取ることができる。	・聞き取れた語句や文から場面や話題を類推しながら聞く。 ・話し手の気持ちや状況を考えながら聞く。 ・要点をとらえて、メモをとりながら聞く。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第六学年	日常生活や相手の将来の夢、訪れたい国に関する事など。 日常生活に関わる簡単な指示や数に関する事など。	3往復程度の対話の内容を理解することができる。 指示や時刻、値段、西暦、電話番号などを聞いて、意味が分かり、応じることができる。	・文の意味から、話題を聞き取る。 ・場面や状況をとらえ、文の意味から、必要な情報を聞き取る。 ・場面や状況を捉え、相手の言うことにジェスチャーや言葉で反応しながら聞く。 ・聞き取ったことを別の語句で言い換えたり、質問したりしながら聞く。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末リスニングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第六学年	自己紹介や身近な話題に関する事など。	名前、年齢、住所、家族、好きなもの、1日の生活、将来の夢など、7文程度のスピーチの内容を聞き取ることができる。	・場面や状況をとらえ、話の概要を理解する。 ・つなぎ言葉に着目して、話題の変化を聞き取る。 ・語句や文の意味、絵や図を手掛かりに話の流れを推測しながら聞き取る。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②3月「スピーチ大会Ⅲ」 ・聞き取った内容を記述したワークシートの見届け。 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第五学年	レストランなどの注文や買い物、簡単な道案内(Go straight/Turn rightなど)に関する事など。 日常生活に関わる簡単な指示や数に関する事など。	2往復程度の対話の内容を理解することができる。 指示や年齢、時刻、計算(加減乗法)、値段などを聞いて、意味が分かり、応じることができる。	・文の意味から、話題を聞き取る。 ・場面や状況を捉え、相手の言うことにジェスチャーや言葉で反応しながら聞く。 ・相手の言うことが分からないとき、適切な表現を用いたり、相手が言う語句を繰り返したりして聞く。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末リスニングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第五学年	自己紹介や身近な話題に関する事など。	名前、年齢、住所、家族、好きなもの、夢の時間割など、5文程度のスピーチの内容を聞き取ることができる。	・場面や状況をとらえ、話の概要を理解する。 ・つなぎ言葉に着目して、話題の変化を聞き取る。 ・語句や文の意味、絵や図を手掛かりに話の流れを推測しながら聞き取る。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②3月「スピーチ大会Ⅱ」 ・聞き取った内容を記述したワークシートの見届け。 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第四学年	日付や曜日、好きな教科や将来の夢などに関する事など。 日常生活に関わる簡単な指示や数に関する事など。	1往復程度の対話の内容を理解することができる。 指示や年齢、時刻、計算(加減乗法)などを聞いて、意味が分かり、応じることができる。	・語句の意味から、相手が言いたいことや情報を聞き取る。 ・相手の言うことにジェスチャーや言葉で反応しながら聞く。 ・相手の言うことが分からないとき、簡単な表現やジェスチャーを用いたり、相手が言う語句を繰り返したりして聞く。	①学期末リスニングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ②単元及び1単位時間 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第四学年	自己紹介や身近な話題に関する事など。	1日の生活や将来の夢、名前、年齢、住所、好きな教科など、3文程度の内容を聞き取ることができる。	・語句の意味から、話題や情報を聞き取る。	①3月「スピーチ大会」 ・聞き取った内容を記述したワークシートの見届け。 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	日付や曜日、時刻、好きな食べ物に関する事など。 日常生活に関わる簡単な指示や数に関する事など。	1往復程度の対話の内容を理解することができる。 指示や年齢、時刻、計算(加減乗法)、値段などを聞いて、意味が分かり、応じることができる。	・語句の意味から、相手が言いたいことや情報を聞き取る。 ・相手の言うことにジェスチャーや言葉で反応しながら聞く。 ・相手の言うことが分からないとき、簡単な表現やジェスチャーを用いたり、相手が言う語句を繰り返したりして聞く。	①学期末リスニングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ②単元及び1単位時間 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	簡単な自己紹介に関する事など。	名前、年齢、住所、好きな物、1日の生活など2文程度の内容を聞き取ることができる。	・語句の意味から、話題や情報を聞き取る。	①3月「インタビュービンゴⅢ」 ・聞き取ったことをチェックしたビンゴカードの見届け。 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	曜日や相手の名前、身近なものに関する事など。 日常生活に関わる簡単な指示や数に関する事など。	対話の内容を理解することができる。 指示や年齢などを聞いて、意味が分かり、応じることができる。	・語の意味から、相手が言いたいことを聞き取る。 ・キーワードとなる語句を聞き取る。 ・ジェスチャーや1語で、反応しながら聞き取る。 ・聞き取ったことが合っているかどうか、語を繰り返して確かめながら聞く。	①学期末リスニングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ②単元及び1単位時間 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	簡単な自己紹介に関する事など。	相手の名前と年齢などを聞き取ることができる。	・語の意味から、相手が言うことや必要な情報を聞き取る。	①3月「インタビュービンゴⅡ」 ・聞き取ったことをチェックしたビンゴカードの見届け。 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	簡単な自己紹介を聞いてその内容を理解することができる。(名前)	日常生活の身近なこと(好きか嫌い)について聞き取ることができる。 簡単なあいさつや指示を聞いて応じることができる。	・語の意味から、相手が言いたいことを聞き取る。 ・キーワードとなる語句を聞き取る。 ・ジェスチャーや1語で、反応しながら聞き取る。 ・聞き取ったことが合っているかどうか、語を繰り返して確かめながら聞く。	①学期末リスニングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ②単元及び1単位時間 ・行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	簡単な自己紹介に関する事など。	相手の名前と年齢を聞き取ることができる。	・語の意味から、相手が言うことや必要な情報を聞き取る。	①3月「インタビュービンゴ」 ・聞き取ったことをチェックしたビンゴカードの見届け。 ・行動観察

小学校・中学校「外国語(英語)科」における学習到達目標【話すこと】

外国語科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

「話すこと」の目標

(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について…) 初歩的な英語を聞いて自分の考えなどを話すことができるようになる。

【話すこと(やりとりの要素が強い活動)】

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	客観的な事実や様々な考えに基づいた自分の意見や主張とその根拠	中心となる話題に関して6往復程度の対話で話すことができる。	・場面や状況を適切にとらえて話す。 ・語句を工夫して、端的にわかりやすく話す。 ・賛成・反対など、自分の立場を明確にして話す。 ・相手の考えとかかわらせて自分の考えを話す。	

【話すこと(発表の要素が強い活動)】

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	客観的な事実や様々な考えに基づいた自分の意見や主張とその根拠	中心となる話題に関して130語程度の英文で話すことができる。	・自分の主張とその根拠(自らの体験や将来の希望、読んだり聞いたりして得た事実)を明確にして話す。 ・自分の主張を支える根拠として、より効果的な情報をつなげて話す。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	経験に基づいた自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や特徴を表した事実	中心となる話題に関して5往復程度の対話で話すことができる。	・自分の意見に対する相手の考えを求めながら話す。 ・相手の意見に対する自分の考えを伝えながら話す。 ・自分が希望することとその理由を併せて話す。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	経験に基づいた自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や特徴を表した事実	中心となる話題に関して100語程度の英文で話すことができる。	・絵や写真、資料、実物、ジェスチャー、表情など(非言語手段)を効果的に用いて話す。 ・文章全体(段落のはたらき)や一文一文の順序性やつながりなど、構成を工夫して話す。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	自分の考えや気持ち、身の回りの出来事	中心となる話題に関して4往復程度の対話で話すことができる。	・双方向のやりとりを楽しみながら話す。 ・声量、抑揚、強調、速度などを工夫して話す。 ・対話の内容を広めるために、質問をしながらかつ話す。 ・受け取った情報から得た自分の考えを話す。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	自分の考えや気持ち、身の回りの出来事	中心となる話題に関して70語程度の英文で話すことができる。	・聞き手への目線や全体に届く声量を意識して話す。 ・基本的な声量の特徴や抑揚をとらえて話す。 ・聞き手の理解を確かめながら話す。	

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第六学年	日常生活や将来の夢、訪れたい国に関することなど。	3往復程度の対話で話すことができる。	・意見や感想の理由を話す。 ・つなぎ言葉を使って話す。 ・簡単な相づちをうち("Sounds good!"など)、相手に発話の機会を与えながら話す。 ・"Yes." "No."の後に付け加えて話す。 ・相手の言うことが分からないとき"Pardon?" "Sorry?"などと、聞き取った内容を確認しながら話す。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末スピーキングテスト(2回に分けて) ③2月末から3月初 ④11月末から12月初 ⑤6月末から7月初 ⑥単元及び1単位時間→行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第六学年	自己紹介や身近な話題に関することなど。	名前、年齢、住所、家族、好きなもの、1日の生活、将来の夢など、7文程度でスピーチすることができる。	・絵や写真などを用いて話す。 ・表情、声、ジェスチャーなどを工夫して話す。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ・「自己紹介をしてください。」などの質問に応じ、自己紹介などを見届ける。 ②3月「スピーチ大会Ⅲ」 ・スピーチの様子を撮影し、分析する。

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第五学年	レストランでの注文や買い物、道案内での簡単な質問、身の回りの物に関わるクイズに関することなど。	自分の欲しい食べ物や飲み物、色や値段などを2往復程度の対話で話すことができる。	・意見や感想の理由を話す。 ・つなぎ言葉を使って話す。 ・簡単な相づちをうち("Sounds good!"など)、相手に発話の機会を与えながら話す。 ・"Yes." "No."の後に付け加えて話す。 ・相手の言うことが分からないとき"Pardon?" "Sorry?"などと、聞き取った内容を確認しながら話す。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末スピーキングテスト(2回に分けて) ③2月末から3月初 ④11月末から12月初 ⑤6月末から7月初 ⑥単元及び1単位時間→行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第五学年	自己紹介や身近な話題に関することなど。	名前、年齢、住所、家族、好きなもの、夢の時間割など、5文程度でスピーチすることができる。	・絵や写真などを用いて話す。 ・表情、声、ジェスチャーなどを工夫して話す。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ・「自己紹介をしてください。」などの質問に応じ、自己紹介などを見届ける。 ②3月「スピーチ大会Ⅲ」 ・スピーチの様子を撮影し、分析する。

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第四学年	日付や曜日、好きな教科や将来の夢などに関すること。	1往復程度で質問したり答えたりして話すことができる。文(3語)で反応したり感想を話したりすることができる。	・語句を強調したり繰り返したりして話す。 ・絵や図を示しながら話す。 ・相手の話にながすいたり、相づちを打ったりして話す。 ・相手の言うことが分からないとき"One more time, please."などと、聞き取った内容の確認めをして話す。	①学期末スピーキングテスト(2回に分けて) ②2月末から3月初 ③11月末から12月初 ④6月末から7月初 ⑤単元及び1単位時間→行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第四学年	自己紹介や身近な話題に関することなど。	1日の生活や将来の夢、名前、年齢、住所、好きな教科など、3文程度でスピーチすることができる。	・絵や写真などを用いて話す。 ・表情、声、ジェスチャーなどを工夫して話す。	①3月「スピーチ大会」 ・スピーチの様子を撮影し、分析する。

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	日付や曜日、時刻、好きな食べ物に関することなど。	1往復程度で質問したり答えたりして話すことができる。文(3語)で反応したり感想を話したりすることができる。	・語句を強調したり繰り返したりして話す。 ・絵や図を示しながら話す。 ・相手の話にながすいたり、相づちを打ったりして話す。 ・相手の言うことが分からないとき"One more time, please."などと、聞き取った内容の確認めをして話す。	①学期末スピーキングテスト(2回に分けて) ②2月末から3月初 ③11月末から12月初 ④6月末から7月初 ⑤単元及び1単位時間→行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	簡単な自己紹介に関することなど。	名前、年齢、住所、好きな物、1日の生活など、2文程度でスピーチすることができる。	・絵や写真などを用いて話す。 ・表情、声、ジェスチャーなどを工夫して話す。	①3月「インタビュービンゴⅢ」 ・インタビューされたことに、簡単な自己紹介をしている様子を観察する。

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	曜日や相手の名前、身近なものに関することなど。	曜日や互いの名前などを質問したり、答えたりして話すことができる。1語で反応したり、感想を言ったりすることができる。	・はっきりと話す。 ・語を強調して話す。 ・絵や図を示しながら話す。 ・相手の話にながすいたり、相づちを打ったりして反応すること ・相手の言うことが分からないとき"O.K?"などと聞き取った内容の確認めをして話す。	①学期末スピーキングテスト(2回に分けて) ②2月末から3月初 ③単元及び1単位時間→行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	簡単な自己紹介に関することなど。	自分の名前と年齢などを話すことができる。	・相手を見て話す。 ・はっきりと話す。 ・笑顔で話す。 ・ジェスチャーなどを工夫して話す。	①3月「インタビュービンゴⅡ」 ・インタビューされたことに、簡単な自己紹介をしている様子を観察する。

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	曜日や相手の名前に関することなど。	日常生活の身近なもの(好き嫌い)について、Yes/Noで答えることができる。あやまったり、お礼を言ったりすることができる。	・はっきりと話す。 ・語を強調して話す。 ・相手の話にながすいたり、相づちを打ったりして反応すること ・相手の言うことが分からないときに、"O.K?"などと、聞き取った内容の確認めをして話す。	①学期末スピーキングテスト(2回に分けて) ②2月末から3月初 ③単元及び1単位時間→行動観察

学年	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	簡単な自己紹介に関することなど。	自分の名前と年齢を話すことができる。	・相手を見て話す。 ・はっきりと話す。 ・笑顔で話す。 ・ジェスチャーなどを工夫して話す。	①3月「インタビュービンゴ」 ・インタビューされたことに、簡単な自己紹介をしている様子を観察する。

小学校・中学校「外国語(英語)科」における学習到達目標【読むこと】

外国語科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

「読むこと」の目標

(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について…)英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。

【読むこと(書かれた内容を読み取る言語活動)】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	対話文や説明文、物語の概要や書き手が伝えようとしている大切な情報	300語程度の対話文や説明文、物語の内容を読み取ることができる。	・自分の知識や体験との関連をはかりながら読む。 ・自分の意見や考えと比較しながら読む。 ・5W1Hに着目して、各段落の要点をつかみながら読む。	

【読むこと(書かれた内容に適切に応じる言語活動)】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	メモやポスター、手紙などにおける書き手の意向	簡単なメモや返事・感想を書くなどして、文字で応じることができる。	・自分の知識や体験との関連をはかりながら読む。 ・書き手が伝えたいメッセージや願いを読み取る。 ・自分にできること(自分がしたいこと)を考え、書き手の意向や願いを受け止めながら読む。	

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	対話文や説明文、物語の概要や要点(中心となる情報)	200語程度の対話文や説明文、物語の内容を読み取ることができる。	・5W1Hを視点にしながらか読む。 ・書き手の体験や経験を詳しく読み取る。 ・わからない語句の意味を類推しながら読む。 ・文の構成から書き手の主張や根拠を読み取る。	

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第二学年	メモやポスター、手紙などにおける書き手の意向	簡単なメモや返事を書くなどして、文字で応じることができる。	・書かれている語句や文から、書かれていない部分を推測して読む。 ・書かれている内容から、書き手の考えを読み取る。 ・自分の意見や考えと比較しながら読む。	

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	対話文や説明文、物語のあらすじや概要	120語程度の対話文や説明文、物語の内容を読み取ることができる。	・キーワードやキーセンテンスをとらえて読む。 ・指示語の内容を具体的にとらえて読む。 ・書かれている内容から書き手の状況や心情を読み取る。 ・内容を予想し、段落ごとに要点をつかみながら読む。	

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第一学年	メモやポスター、手紙などにおける書き手の意向	書き手の意向をくんで、自らの動作(行為)で応じることができる。	・キーワードやキーセンテンスをとらえて読む。 ・書かれている内容から書き手の状況や心情を読み取る。	

【読むこと(書かれたことを読む言語活動)】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第六学年	身の回りの看板や公共の施設などの簡単な表示や掲示(Closed/No Dogs)など。 アルファベットの大文字と小文字	単語や文を読み、その内容に応じることができる。	・アルファベットの大文字と小文字を認識して読む。 ・ピリオド、疑問符、コンマ引用符、感嘆符を認識して読む。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末リーディングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察

【読むこと(書かれたことを読んで応じる言語活動)】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第六学年	日付や曜日に関すること、身の回りの人や物(名詞)の状態(形容詞)や動作(動詞)に関することなど。	音で親しんだ単語や文で書かれた質問などを読み、その質問などに答えたり、応じたりすることができる。	・ローマ字を手がかりに読む。 ・単語の長さを手がかりに読む。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②単元及び1単位時間 ・書かれた単語や文を読んで、動作をするなどの行動を観察する。

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第五学年	簡単な英語のメニュー(レストランなどのメニュー)に関することなど。 アルファベットの大文字と小文字	音で慣れ親しんだ単語で書かれたメニューなどを読んで、注文したり、それに応じたりすることができる。	・ローマ字を手がかりに読む。 ・単語の長さを手がかりに読む。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末リーディングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第五学年	日付や曜日、身の回りの人や物(名詞)の状態(形容詞)や動作(動詞)に関することなど。	音で親しんだ単語や文を読みながら発話することができる。	・ローマ字を手がかりに読む。 ・単語の長さを手がかりに読む。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②単元及び1単位時間 ・書かれた単語や文を読んで、動作をするなどの行動を観察する。

第4学年 【ローマ字のヘボン式】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
	身の回りの物(名詞)や固有の名詞に関することなど。	ヘボン式で書かれた人や物の名前、日本の伝統工芸品や名所、都道府県名などを読み取ることができる。	・ローマ字の大文字・小文字をヘボン式で書く。 ・大文字、小文字を使い分けて書く。 ・罫線を意識して、丁寧に書く。	①学期末リーディングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察

第3学年 【ローマ字の訓読式】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
	身近なことや身の回りの物(名詞)に関することなど。	訓令式で書かれた人や物の名前などを読み取ることができる。	・大文字、小文字の違いを確かめながら読む。 ・罫線に書かれたローマ字の形を認識しながら読む。	①学期末リーディングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察

小学校・中学校「外国語(英語)科」における学習到達目標【書くこと】

外国語科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

「書くこと」の目標

(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等、身近な話題について…) 英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

【書くこと(自分の考えや気持ち、それを支える事実などを書く言語活動)】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠	中心となる話題に関して10文程度の正しい英文で書くことができる。	・自分の考えの根拠となるデータや事実などを効果的に取り入れて書く。 ・精選した事実から感じる自分の思いを広めながら書く。 ・対比や問いかけなどの構成を工夫して書く。	
第二学年	経験に基づいた自分の考えや気持ち、またそのときの詳しい様子や状況を表した事実	中心となる話題に関して7文程度の正しい英文で書くことができる。	・読みやすさを意識した順序で、具体的な体験やそこから感じたことを書く。 ・内容のまとまりに留意し、出だしや結び、具体例などの効果的な構成を考えて書く。	
第一学年	自分の考えや気持ち、身の回りの出来事	中心となる話題に関して5文程度の正しい英文で書くことができる。	・文字や符号の識別、語順や文のつながりに留意して書く。 ・伝えたい内容を整理しながら書く。(キーセンテンスとサポーティングセンテンスを併せて) ・自分の考えや気持ち、事実を支える理由を加えて書く。	

【書くこと(受け取った情報に適切に応じるために書く言語活動)】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第三学年	話し手や書き手が発信した情報に対する自分の意見や主張とその根拠	300語程度の英文を読んだり、100語程度の英文を聞いたりして、それについて賛否やその理由を書くことができる。	・受け取った情報から感じた自分の考えを、自分の体験を基にして書く。 ・話し手や書き手の意見に対して、賛成・反対など自分の立場とその根拠を明らかにして書く。	
第二学年	話し手や書き手が発信した情報に対して、自分が考えたり感じたりしたこと	200語程度の英文を読んだり、70語程度の英文を聞いたりして、それについて簡単な感想を書くことができる。	・自分が感じたことをメモに残す。 ・受け取った情報から引用したり、感情を伝える語彙を用いたりして、自分の考えや感想を簡単な英語で書く。	
第一学年	話し手や書き手が発信した情報において自分が理解した内容	120語程度の英文を読んだり、50語程度の英文を聞いたりして、その要点のメモをとることができる。	自分が得ようとする情報の要点を、語句や図、記号、数字などを使ってメモをとる。	

【書くこと(音で慣れ親しんだ単語や文を書く活動)】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第六学年	身の回りの看板や公共の施設などの簡単な表示や掲示(Closed/No Dogs)など。アルファベットの太文字と小文字	7文程度のスピーチを聞いて、大まかな内容を日本語でメモしながら、音で慣れ親しんだ単語を文字に表すことができる。罫線上に太文字と小文字を認識して、単語を書くことができる。	・キーワードとなる単語をとらえてメモをとり、音を文字にする。("How do you write ~ in English?")	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末ライティングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察
第五学年	簡単な英語のメニュー(レストランなどのメニュー)に関することなど。アルファベットの太文字と小文字	5文程度のスピーチを聞いて、大まかな内容を日本語でメモしながら、音で分かる単語を文字に表すことができる。罫線上に太文字と小文字を認識して、単語を書くことができる。	・キーワードとなる単語をとらえてメモをとり、音を文字にする。("How do you write ~ in English?")	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末ライティングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察

【書くこと(尋ねられたことを単語や文で書く活動)】

	内容	程度	方法	評価時期・方法
第六学年	自分の名前、日付や曜日に関する事、身のまわりの物(名詞)の状態(形容詞)や動作(動詞)に関する事など。	音で慣れ親しんだ単語や文を、尋ねられた内容に応じて、終止符、疑問符、コンマ、引用符、感嘆符などを使って、罫線上に書くことができる。	・アルファベットの太文字・小文字を活字で書く。 ・大文字、小文字を使い分けて書く。 ・罫線を意識して、丁寧に書く。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末ライティングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・単語や文が書かれたワークシートの見届け。
第五学年	自分の名前、日付や曜日、身の回りの人や物(名詞)の状態(形容詞)や動作(動詞)に関する事など。	音で慣れ親しんだ単語を、尋ねられた内容に応じて、罫線上に書くことができる。	・アルファベットの太文字・小文字を活字で書く。 ・罫線を意識して、丁寧に書く。	①3月「年間パフォーマンステスト」 ②学期末ライティングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・単語や文が書かれたワークシートの見届け。

第4学年 【ローマ字のヘボン式】

内容	程度	方法	評価時期・方法
身の回りの物(名詞)や固有な名詞に関する事など。	人や物の名前、日本の伝統工芸品や名所、都道府県名などをヘボン式で書くことができる。	・ローマ字の大文字・小文字をヘボン式で書く。 ・大文字、小文字を使い分けて書く。 ・罫線を意識して、丁寧に書く。	①学期末ライティングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察

第3学年 【ローマ字の訓読式】

内容	程度	方法	評価時期・方法
身近なことや身の回りの物(名詞)に関する事など。	人や物の名前などを訓令式で書くことができる。	・ローマ字の大文字・小文字を訓令式で書く。 ・罫線を意識して、丁寧に文字や語を書く。 ・大文字、小文字を使い分けて書く。	①学期末ライティングテスト(2回に分けて) ・2月末から3月初 ・11月末から12月初 ・6月末から7月初 ③単元及び1単位時間 ・行動観察

表現活動において言語の使用場面と言語のはたらきで小中高を接続（小学校・中学校・高等学校）

中学校・外国語の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション活動の基礎を養う。

高1年(CAN-DO リスト Grade 3)

やりとりの要素が強い言語活動

相手の言っていることが分からない場合、What do you mean by…?やDo you mean …?などを用いて、相手の意図を尋ねることができる。

高1年(CAN-DO リスト Grade 3)

発表の要素が強い言語活動

・日常生活で簡単な用を足したり、興味・関心のあることについて自分の考えを述べるができる。

高1年(CAN-DO リスト Grade 3)

・興味関心のある事柄(将来の夢、尊敬する人物など)について10文程度で書くことができる。
・単純な状況を分かりやすく描写したり、自分の意見や感想を相手に伝わるように平易に書くことができる。

中学校→高校 言語材料でつなぐ

中学校・話すこと目標(英語)

初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。

中学校・書くこと目標(英語)

英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

第3学年

やりとりの要素が強い言語活動

Unit 3
自分のとっておきの経験について、現在完了形を用いて本物の経験を1つと本物ではない経験を2つ話す中で、相手とやりとりをしながら、どれが本物かを当ててもらおう活動を行う。相手の質問にプラス1文で答えたりしながら、ペアで不自然な間がなく6往復程度の対話で話すことができる。

第3学年

発表の要素が強い言語活動

Unit 5
後置修飾や間接疑問文等の言語材料を用いて、訪日外国人観光客を増やすために、主張点理由を明確にし13文程度の英語でプレゼンを行うことができる。また、相手のプレゼンを理解し、質問したり意見を述べたりすることができる。

第3学年

Unit 4

日本の観光ガイドブックを作成する活動を通して、そこで見られるもの(sight)、食べられるもの(food)、体験できる(experience)ことなど観光客にとってどんな楽しいことやおもしろいことがあるかについて、不定詞を含む英文を用いて10文程度で詳しく説明することができる。

第2学年

やりとりの要素が強い言語活動

Unit 5
If(条件節)や接続詞that, when, 理由を表すbecauseを用いて、トピックについて自分の考えを述べるとともに、相手の意見を聞いて、賛成なのか、反対なのか自分の意見を5往復程度の対話で伝えることができる。

第2学年

発表の要素が強い言語活動

Unit 2
未来を表す表現を用いて、仮想「東京班別研修プラン」を作成し、おススメの場所やおみやげ、食べ物などを説明するとともに、聞き手に質問しながら一方通行でないプレゼンテーションを10文程度の英語で行うことができる。

第2学年

Unit 6

There is構文や動名詞を用いて、自分が素晴らしいと思う世界の絶景について、仲間に7文程度の英文で書きまとめる。(書きまとめたものをもとに、質問や言い換えを加え、聞き手に伝える。)

第1学年

やりとりの要素が強い言語活動

Unit 10
疑問詞what, where, whoseを使って、仲間が好きなものやいつ何をするのかを質問したり、助動詞canを使って仲間ができることを質問したりして、4往復程度の対話で仲間の情報を聞きだすことができる。

第1学年

発表の要素が強い言語活動

Unit 8
持ち物や出身地をヒントに仲間の好きな人物(キャラクター)を当てるクイズを通し、疑問詞where, whoseを使って解答者に質問したり、人称代名詞を使って詳しく説明したりして聞き手を引き込みながら7文程度の英文で情報を伝えることができる。

第1学年

Unit 11

一年間の学校生活で一番心に残っていることを書いて文集をつくる活動を通して、過去形を用いて、そのときの出来事や自分の気持ちが伝わるように、文と文のつながりに気をつけて5文程度の正しい英文で書くことができる。

Unit 4

一般動詞の疑問文や疑問詞を使った文を用いて、相手の好みや、放課後の過ごし方、食事の内容等についてたずねたり、相手に新しい情報を加えて答えたりして対話を継続させながら、4往復程度のインタビューの対話を行うことができる。

Unit 7

冬休みにいきたい海外旅行プランを提案する活動を通して、疑問詞を使って聞き手の好みや知っていることを質問し、相手の理解を確かめながら説明したり、写真や絵などの資料やジェスチャーを用いたりして、会話に相手を引き込みながら7文程度の英文で説明することができる。

Multi+2

自分の一日の生活の様子をまとめ、仲間に伝えるために5文程度の正しい英文で書きまとめることができる。また仲間と交流し、聞き取った仲間の一日の生活を三人称単数現在形を用いて5文程度で、書き表すことができる。

小学校→中学校 場面・活動内容でつなぐ

「インタビュー」に関わる小学校の活動

小6年「修学旅行で国際交流」
修学旅行で外国人観光客に名前や出身国などをたずねるインタビューを行う。
小5年「どんな服を着て出かけようかな」
自分が好む衣服や目的にふさわしい衣服を考え買い物計画を立て、店員と客になって仲間とコミュニケーションを行う。
小4年「楽しいクリスマス」
ゲームを通して、相手がほしいものをたずねたり、自分がほしいものを答えたりして、英語表現に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図る。

「紹介」に関わる小学校の活動

小6年「世界旅行に出かけよう」
旅行会社の店員とお客になって、ツアーの紹介をしたり、自分の行きたいツアーやその理由を伝えたりする。
小5年「旅に出かけよう」
旅行する人が、自分なりの旅行プランを実現するために、各都道府県の情報を集める。
小4年「Gifu is wonderful! 岐阜県を紹介しよう」
ガイドや観光客の役になって、岐阜県の有名な特産物を紹介し合う。

小3・4年

・アルファベットの大きい文字や小さい文字を書き写す。
・ヘボン式ローマ字で自分の名前を書いたり、ヘボン式を用いて身近な名詞を正しく表記したりする。
小5年
・動物や食べ物・色の名前など、十分に慣れ親しんだ単語を書く。
・カードやポップカードなどを作成するときに、自分が使いたい単語のいくつかを書き写す。
小6年
・動物や食べ物、さらに加えて自分の好きなスポーツや教科など、十分に慣れ親しんだ単語を書き写す。
・パンフレットやポスターなどを作成するときに、自分が使いたい単語のいくつかを書き写す。

話題別学習到達目標【私たちの学校・ふるさと自慢】 小学校

学年	到達目標	到達目標を具現した対話例	教科書題材	言語材料	評価方法
6	<p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの学校や長良の町、岐阜市、岐阜県について、 話し手は、自分たちの学校や長良の町、岐阜市、岐阜県のよさや魅力、できること、名所・名産品や自分のお気に入りのポイントとその理由などを ・I like ~ because...やYou can 話しながら、 聞き手は、相手の発話を繰り返す、相手の発話内容について簡単な感想を述べる、相手が言ったことに関する即興的な質問をするなどの対話方略を用いて聞きながら、 4往復程度の対話をすることができる。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話したことをもとに、例文を参考にしたり、定型表現や慣れ親しんだ単語を書き写したりしながら、岐阜市の名所・名産品、岐阜市でできること、自分のおすすめポイントとその理由など、ふるさとのよさや魅力を、3文程度の英文で書くことができる。 	<p>A: Hi, how are you? B: I'm great. How are you? A: I'm pretty good. Let's talk about Gifu. B: OK. A: What do you like about Gifu? B: I like Gifu Castle. A: You like Gifu Castle. Sounds nice. Why do you like it? B: Because it's cool. A: It's cool, I think so too. Tell me more, please. B: Gifu Castle is on Mt Kinka, so you can enjoy climbing a mountain. It's fun! A: That's good. B: Now it's your turn. What do you like about Gifu? ... A: Nice talking to you. B: You too.</p>	<p>* KC/A Area Study ①② Where is Gifu City? Things in Gifu City</p>	<p>・What do you like about ~? ・Why do you like ~? ・Because ~. ・I like ~ing.</p>	<p>・Performance Test (Speaking Test 教師との対話) ・紹介カードに書いた英文</p>
5	<p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの学校や長良の町について、 話し手は、学校や町のよさや魅力(好きなところ・なにかができるのか等)とその理由、自分の気持ちなどを、 ・I like ~ because ...やI can などの言語材料を用いて話しながら、 聞き手は、相手の発話を繰り返す、相手の発話内容について簡単な感想を述べるなどの対話方略を用いて聞きながら、 ・3往復程度の対話をすることができる。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話したことをもとに、例文を参考にしたり、定型表現や慣れ親しんだ単語を書き写したりしながら、長良の町のお気に入りの場所、よさ、できることなど、ふるさとのよさや魅力を、3文程度の英文で書くことができる。 	<p>A: Hi, how are you? B: I'm great. How are you? A: I'm pretty good. Let's talk about Nagara. B: Sure. A: What do you like about Nagara? B: I like the Tenjin river. A: You like the Tenjin river. Sounds nice. Why do you like it? B: Because I like fishing. A: You like fishing. That's nice. Tell me more, please. B: I enjoy catching fish. I can catch oikawa. It's fun! A: That's good. B: Now it's your turn. What do you like about Nagara? ... A: Nice talking to you. B: You too.</p>	<p>* KC/S Area Study② Things in Gifu City 岐阜市が誇りに思っているもの * KC/S Area Study③ Walking in the Town 町たんけんをしよう * KC/S Area Study④ Gifu Sugoroku 岐阜県すごろくを楽しもう</p>	<p>・What do you like about ~? ・Why do you like ~? ・Because ~. ・I like ~ing. ・</p>	<p>・Performance Test (Speaking Test 教師との対話) ・ポスターに書いた英文</p>
3・4	<p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県内の名所について、 話し手は、県内の名所のよさや魅力(好きなところ)とその理由、自分の気持ちなどを、 ・I like ~ や because ... などの言語材料を用いて話しながら、 聞き手は、相手の発話を繰り返す、相手の発話内容について簡単な感想を述べるなどの対話方略を用いて聞きながら、 ・2往復程度の対話をすることができる。 	<p>A: Hi, how are you? B: I'm great. How are you? A: I'm pretty good. Let's talk about Gifu. B: Sure. A: Where do you like in Japan? B: I like Okinawa. A: You like Okinawa. Sounds nice. Why? B: (Because) I like the sea. It's beautiful! A: You like the sea. That's good. B: Now it's your turn. Where do you like in Japan? ... A: Nice talking to you. B: You too.</p>		<p>・Where do you like in ~? ・I like ~. ・It's beautiful. など</p>	<p>・Performance Test (Speaking Test 教師との対話)</p>
1・2	<p>【聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の季節行事や長良の町にあるものについて、絵やジェスチャーを手掛かりにして、単語(2語程度)で反応したりしながら聞くことができる。 			<p>・Where do you live? ・What do you see? ・動物、色等の名称</p>	<p>・Listening Test (絵を選ぶ、など)</p>

話題別（ふるさと自慢）活動内容・言語材料・到達目標 【中学校】

学年	1	2	3
教科書題材	L9 Four Seasons in Japan	L4 Enjoy Sushi L5 My Dream	L3 Rakugo Goes Overseas
活動内容	⑨岐阜の町紹介	④私たちの町長良紹介 ⑤My Dream Townスピーチ	③おすすめの岐阜スポット紹介
言語材料	⑨過去形(一般動詞)	④There is/are, 動名詞 ⑤不定詞 (名詞的用法, 副詞的用法, 形容詞的用法)	③現在完了形(経験・完了)
学校行事との関連		立志合宿 CTH(夏休み)	修学旅行
到達目標	<p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちのふるさと岐阜の四季について(話題) 話し手は, 自分たちのふるさと岐阜の四季に合わせたイベントやよさ, 魅力, できること, 名所・名産物(食べられるもの・買えるもの)や自分のお気に入りのポイントとその理由を経験を踏まえながら(内容) 一般動詞の過去形を用いて(言語材料) 聞き手は, 相手の発話を繰り返す, 相手の発話内容について感想を述べる, 相手の発話内容に関わらせて即興的に質問するなどの対話方略を用いて聞きながら, (理解方法) 5文程度で話すことができる(程度) <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちのふるさと岐阜の四季について(話題) 話し手は, 自分たちのふるさと岐阜の四季に合わせたイベントやよさ, 魅力, できること, 名所・名産物(食べられるもの・買えるもの)や自分のお気に入りのポイントとその理由を経験を踏まえながら(内容) 一般動詞の過去形を用いて(言語材料) 5文程度の英文で書くことができる。(程度) 	<p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちのふるさと長良の町について(話題) 話し手は, 自分たちのふるさと長良のよさや魅力, できること, 名所・名産物(食べられるもの・買えるもの)や自分のお気に入りのポイントとその理由を具体的に(内容) 不定詞を用いて(言語材料) 聞き手は, 相手の発話を繰り返す, 相手の発話内容について感想を述べる, 相手の発話内容に関わらせて即興的に質問するなどの対話方略を用いて聞きながら, (理解方法) 10文程度で話すことができる。(程度) <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちのふるさと長良について(話題) 自分たちのふるさと長良のよさや魅力, できること, 名所・名産物(食べられるもの・買えるもの)や自分のお気に入りのポイントとその理由を経験を踏まえながら(内容) 不定詞を用いて(言語材料) 10文程度の英文で書くことができる。(程度) 	<p>【聞くこと・話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちのふるさと岐阜市や岐阜県について(話題) 話し手は, 自分たちのふるさと岐阜市や岐阜県のよさや魅力, できること, 名所・名産物(食べられるもの・買えるもの)や自分のお気に入りのポイントとその理由を経験を踏まえながら(内容) 現在完了形の経験・完了用法を用いて(言語材料) 聞き手は, 相手の発話を繰り返す, 相手の発話内容について感想を述べる, 相手の発話内容に関わらせて即興的に質問するなどの対話方略を用いて聞きながら, (理解方法) 12文程度で話すことができる。(程度) <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちのふるさと岐阜市や岐阜県について(話題) 自分たちのふるさと岐阜市や岐阜県のよさや魅力, できること, 名所・名産物(食べられるもの・買えるもの)や自分のお気に入りのポイントとその理由を経験を踏まえながら(内容) 現在完了形の経験・完了用法を用いて(言語材料) 12文程度の英文で書くことができる。(程度)
到達目標を具現した英語表現	<p>Gifu has many events in spring, summer, fall and winter. In October, we can see and enjoy Nobunaga Festival. Look at this picture. This is Nobunaga Festival. In this festival, we can see Nobunaga parade. Last year I went there and saw it. It was very interesting, so I was very happy. I want to see it again.</p>	<p>Hello, everyone. Do you like Gifu? I like Gifu very much because there are many beautiful and traditional things here. Especially I like the Great Buddha of Gifu. Do you know this? This is near Gifu Park. It is in Shouhouji temple. It is made of bamboo. People built it 183 years ago. People made it for 38 years. We can see a big great Buddha. We can relax and touch the history. Last summer I went there and saw this Buddha. I touched the history and could relax. But in Gifu there are many old people and most of them live alone. I think it's not good and I'm very sad. I want to make a kind city for old people. So I'm going to help them and I want to make events at Higashi Nagara junior high school to communicate with them. I like Gifu. Gifu is my hometown. I'm going to make a better city. Thank you.</p>	<p>Look at this picture. This is Old Streets in Takayama. Have you ever been to Takayama? It is famous for Takayama festival. We can see this festival twice a year. And we can see many traditional buildings and beautiful places. Also we can eat <i>hobamiso</i>, Hida beef and <i>tsukemono</i> steak there. I have lived there for 3 years. I have joined Takayama festival 3 times. The students in Takayama join this festival. For example, some of them play <i>shishimai</i> and <i>tatebue</i>. I could touch the history and enjoy them. Takayama is a wonderful place in Gifu. Please go there and enjoy Takayama! Thank you.</p>
評価の場・方法	<ul style="list-style-type: none"> Performance Test (岐阜の町シートを用いながらプレゼン形式で発表, ALTから即興的な質問も入れてもらう) Performance Test 後にまとめた英文 	<ul style="list-style-type: none"> Performance Test (長良の町シートを用いながらプレゼン形式で発表, ALTから即興的な質問も入れてもらう) Performance Test 後にまとめた英文 	<ul style="list-style-type: none"> Performance Test (岐阜の町シートを用いながらプレゼン形式で発表, ALTから即興的な質問も入れてもらう) Performance Test 後にまとめた英文